

り+ぶらす

ろなど森づくりキャンペー

とサッポロビール、ポッカ道は今年も4日からビール飲料の売り上げの一部を森もろう共同キャンペーンを昨年よりワインなど4種類とし、協力を呼び掛ける。コープの全108店舗か戸別で、キャンペーンシールな品を買くと、道有林や市町といった活動に寄付できる。1本当たり10円、その他が

までのキャンペーン期間中



売予定で、231万円の寄付を年内にも累計1千万円に達する。大見英明理事長＝写は「年々組合員の支持が広まると貢献できれば」と話した。「ほけんプラザ」本店(札幌市中央区大通5丁目)で最大手「ほけんほけい」の相談ブース「北洋ほけい」を開設した。同行の各店窓口兼として、取扱保険商品「ザ」では70種類に増やし、を図る。

月、同グループと業務提携で研修を受けた行員が「ほけんほけい」の保険選びの相談、加入



する。写真＝では石井純二頭取(左)と佐藤(右)が、多くの道民に愛されたい」とあいさつ。ほけいグループの窪田泰彦会長兼社長も「道民の役に立ちたい」と話した。

タイカレー(札幌市)は、レトルトの「タイカレー」から「タイカレー」から「タイカレー」から「タイカレー」から



いんたびゆー

INTERVIEW

途上国開発に積極参加

会沢 祥弘さん

会沢高圧コンクリート社長



コンクリート製品製造国内大手の会沢高圧コンクリート(苫小牧)が、寒冷地など過酷な条件で培った技術力を生かし、途上国の開発プロジェクト参加を進めている。道内の公共事業が縮小する中、技術開発に力を入れる会沢祥弘社長に今後の戦略を聞いた。

――今年もミャンマーで日本の政府開発援助(ODA)事業に参画し、幹線鉄道道路の盤改修に取り組みますね。

「海外の事業展開は2007年にベトナムのサイゴン川の地下道路建設に参画したのが最初です。現在はロシア、モンゴルなど海外6拠点にグループ会社があります。ミャンマーでは現地企業などと一緒に会社をつくり、ヤンゴン郊外にコンクリート製造工場を開設しました。ヤンゴンや首都ネピドー、商業都市マンダレーを結ぶ幹線鉄道を総事業費1127億円で大規模改修する事業が日本の援助で進んでいて、われわれはコンクリート製枕木などを供給する予定で」

――プロジェクトに参加したいきき方は。

「各国での実績と技術力を

寒冷地発 技術力生かす

あいざわ・よしひろ 日高管内新ひだか町出身。中央大卒。日本経済新聞社に入社後、記者として米ニューヨーク駐在などを経て、1998年に父が経営する会沢高圧コンクリート入社。2002年から現職。51歳。

認めてくれた現地の建設大手からの依頼です。寒冷地と高温多湿の地域はいずれも原材料の温度や湿度の管理が重要。ただ、海外進出はあくまでも現地からの依頼が基本で、経営リスクを回避するため、自ら受注合戦に参入することは考えていません」

――海外に目を向けるきっかけは。

「小泉政権の構造改革以降、公共事業見直しで道開発予算が大幅に減り、業界は生き残りの模索を始めました。企業規模を縮小する動きもありましたが、わが社は拡大路線を維持しました。研究開発を深めるため、09年には技術研究所を設立。結果的に海外での評価につながりました」

――バクテリアの力でコンクリートのひび割れを修復する新技術の販売を始めるそうですね。

「オランダのデルフト工科大の研究チームが開発した技術です。生コンクリートにバクテリアを配合することで、ひび割れから浸透した水に胞子が反応して、コンクリートと同じ成分の炭酸カルシウムをつくり、ひび割れ部分を自然に埋めていく。日本での独占販売契約を結び、補修用材料を7月にもテスト販売します。年度末までには国内での生産供給にめどを付けたい」

――業界にとっても新たな柱となるのでしょうか。

「ひびの修復は、外科的な治療ではいたちごっこ。老朽化したインフラの修復が問題となるなか、圧倒的にコストが削減できます。普及すれば、時代をリードする技術になると確信しています」

備する。また、より多くの人々にセコの魅力を満喫してもらえれば」と期待する。

務安と新千歳を往復するチャーター便を9回運航する。

いの金額を返済できるかなどを盛り込んだ再生計画案

売上高0.7%増

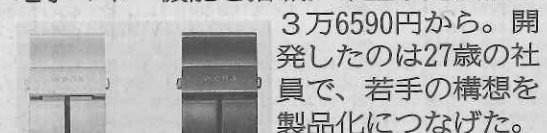
アークス3～5月期

食品スーパー道内大手のアークス(札幌)が3日発表した2017年3～5月期連結決算は、売上高が前年同期比0.7%増の1276億700万円と、3～5月期としては過去最高となった。一方、人件費の増加などで本業のもうけを示す営業利益は5.9%減の

32億円と減少した。4月以降、傘下パーで始めた焼ききずしなど家庭用セットメニューがとに加え、店舗の改装を積極的に行っており、客単価を伸ばす。一方、人手不足でコストがかかるなど、14.6%減の20万円だった。

アナログ時計をIT化

ソニーは3日、好きなアナログの時計をスマートウォッチにできる「wena wrist」ステンレスバンド一写真＝を11日に発売すると発表した。バンド部分に電子マネー機能を搭載。希望小売価格は3万6590円から。開発したのは27歳の社員で、若手の構想を製品化につなげた。



これまでの「wena wrist」は、時計の電子マネー機能

ソニー、若手のアイデア商